

## 平成30年度 第一回定例会議事録

市民まちづくり会議・むさしの

日時 平成30年7月13日(金) 午後7時～午後9時30分

場所 商工会館3F 消費者生活センター講座室

出席者：16人

司会 内門

### 1. 第6次長期計画策定関係（篠原）

- ・市の第6次長期計画（2020年～2029年）の策定にかかわる第2回市民会議が7月1日（日）に開催され、本会にグループ討議のコーディネーターの派遣を依頼されたため、篠原、山田、南、村井、塩澤（2分野）の5名が支援協力を行った。
- ・派遣スタッフの率直な感想としては、市民参加への取り組みは評価するものの、参加市民にもコーディネーターにも戸惑いや混乱が生じており、市民参加体制の運営ノウハウについては必ずしも十分とはいえない状況にあった。
- ・市民参加による行政運営が既定の事実となっている以上、この分野における行政内の専門人材の確保や育成、ノウハウの蓄積と継承が期待される。

### 2. 外環関係（西村、村井）

- ・外環その二に関する議論の中間とりまとめ作業部会が継続実施されており、課題整理のための会議が8月2日に開催される。
- ・7月7日に本宿小でオープンハウスが開催された。むさしの地区外環問題協議会では、現在武蔵野市に「学習会」の開催を要望している。
- ・外環の本体工事に関しては、野川において水底からの泡の発生が生じており、原因はまだ明らかにされていない。地下水の出水問題等で現在シールドマシンは止まっているとの報告があった。

### 3. 景観関係（南）

- ・まちの景観の実態を理解してもらうために一昨年まで実施してきた地区別の景観ウォッチングと関連して、昨年度は古民家ウォッチングが実施されたが、今年度も古民家ウォッチングの継続実施を検討したい。
- ・景観学習については、まちづくり推進課がとりまとめを行った「景観まちづくりの手引き」を参考資料として、学習会を実施する予定。さらに「景観まちづくりの手引き」の今後の改定に向けて、武蔵野市における景観整備手法に関する新たな提案等を検討する予定。
- ・今年度も市が景観に関する様々な取り組みを実施するものと考えられるため、必要に応じて支援活動も行いたい。

### 4. 武蔵野市の緑の保全・活用を考えるシンポジウム関係（田中）

- ・6月17日に武蔵野芸能劇場において開催された第2回シンポジウム（玉川上水の自然を守り育てる）に関して、参加者数は87名と非常に盛況な会であった。シンポジウムの開催に関しては、生涯学習スポーツ課の「生涯学習事業補助金」の支援を受けている。
- ・次回の第3回シンポジウムは、「まちなかの農地を活かす！」というテーマで8月19日（日）に武蔵野プレイスで開催する。
- ・生産緑地の2022年問題に関連して、特に武蔵野市において想定される状況等について

て、塩澤氏から情報提供があった。

#### 5. 空き家対策委員会について（篠原）

- ・住宅対策課を事務局として、これまで5回の会議が行われており、8月には市長への答申が出される予定。
- ・市が実施した実態調査、アンケート調査等の結果では、武蔵野市においてはまだ空き家問題はそれほど顕著な問題とはなっていないものの、空き家にかかわる関係者からは、様々な支援への要請も出ている。
- ・会員からは、住宅撤去後におけるコインパーキングの排水処理問題（雨水の地下浸透が不適切な場合がある）等に関する検討課題の提案があった。

#### 6. くらしフェスタ 2018 関係（内門）

- ・2018年度のテーマは「武蔵野市の雑木林の現状と課題」とし、原稿の執筆は田中氏にお願いする。
- ・発表会場と日時は、武蔵野プレイスが9月28,29日、市役所前の青空市が11月11日となる予定。

#### 7. プレイス西通り会について(中島)

- ・都市計画の変更に関わる見直しは順調に進んでおり、今年の秋には廃止決定の予定。
- ・今後の西通り整備と関連して、プレイスの地下駐車場とプレイス北側のふれあい広場公園の利用状況が問題視されるため、正確な状況を把握するために市に対して情報公開請求を行った。

#### 8. その他

- ・青木氏より「九浦の家だより」の提供と内容紹介が行われた。
- ・山田氏から、ワールドカップサッカー・ロシア大会への遠征レポート（ブラジル大会も）の提供があった。仲間とともに、南相馬市の中学生3名を招待。

作成 南 賢二